



～お客様の想いをじっくりと伺い、世界で一つの作品を丁寧にお作りします～

sugihara kazuko

LEATHER PARK 杉原 和子さん

PROFILE

『LEATHER PARK (レザーパーク)』オーナーで、革作家。厳選した素材を用い、一人一人の思いに応えるオリジナル作品を制作。平成 28 年には JR 静岡駅ビル・パルシェでのチャレンジショップに出店。革で想像力を育てる『革育』にも力を入れている。

■■■■ 起業までの経緯 ■■■■

母が革職人だったこともあり、幼い頃から革は身近な存在でした。短大在学中から、東京の革職人のもとで本格的に技術を学びました。

短大を卒業しシェフなど異業種を経験したのですが、革の魅力に改めて気がついた頃、当時母が構えていた革製品の店を引き継ぐことになったんです。その後結婚・出産を経て、自分の時間が作れるようになってから、本格的に革作家として活動をスタートしました。シェフや主婦の経験を生かし、お客様一人一人の思いに応えられる作品を作りたい、そんな気持ちから【LEATHER PARK】を立ち上げました。



■■■■ 起業して良かったと思う時は？ ■■■■

私のバッグを購入された方に「やっとな欲しいバッグを見つけた」と言ってくれたことがあります。また、オーダーのご注文を受けて、お客様の好きな色・好きな形で作ったものをお渡しした時には、本当に喜んだ表情を見せていただけます。お客様の嬉しそうな顔を見ると、やっぱり「作って良かったな」と思いますし、そうした瞬間に「この仕事をしていて良かった」と感じます。

■■■■ エフドアを利用した感想 ■■■■

私にとって昨年は本当に大きな一年でした。藤枝市主催の女性起業セミナーに参加してエフドアを知り、相談に乗っていただけるようになって色々なことが大きく変わったんです。ホームページを作成したり、パルシェさんに出店することができたり、多くの方と知り合うこともできました。

一人で事業をしていると、相談する相手を見つけることがなかなかできません。そんな時、ちょっとしたことでエフドアで聞いてもらえると元気になるし、助かっています。誰かに聞いてもらったことによって、状況が変わることもありますから。

■■■■ 制作をする上で大切なことは？ ■■■■

『どこにもないバッグ』をお作りしたいというのが一番のこだわりです。お客様ごとのオーダーにお応えし、世界で一つのバッグを創りたい。そんな気持ちでいつも制作しています。

オーダーと言うとすごく高額イメージがあるかもしれませんが、「ちょっとこの糸変えたい」とか、「もう3センチ大きいサイズにしたい」といったご要望にもお応えすることができます。小さなキーホルダーひとつでもオリジナルでお作りできます。お客様だけの作品をお届けするため、心を込めて制作しています。

LEATHER PARK



■住所：藤枝市

■HP：<https://www.leather-park.com/>

■Blog：<http://leatherpark.eshizuoka.jp/>

作品を展示しているアトリエもあります。ぜひお立ち寄りください。

